

# 鬼怒中だより 第6号

平成28年11月30日

発行者 校長 酒井功夫

～生徒信条 自ら判断し、実行し、責任を持とう～

11月24日、朝から降り出した雪が校庭一面に積もり、一時白銀の世界となりました。まだ校庭の木々は、葉を付けたままで、例年よりも1ヶ月早い冬の訪れとなりました。今年を振り返ってみると、夏休み前半は猛暑で、後半から長雨が続ки、9月、10月になっても夏日があるなど明らかに日本全体の気候が、何らかの影響を受け変化しています。しかし、鬼怒中学校の生徒たちは相変わらず元気に毎日を過ごしています。10月末に実施された学習発表会、フェスタ鬼怒で、今年的主要学校行事は終了し、3年生は卒業後の進路に向けて学習に集中し始めました。

1、2年生は、来年度の部活動大会に向けて木枯らしの吹く中、日々練習に励んでいます。この冬を乗り越えて、一回り二回り成長した姿を見せてくれることを期待しています。

## 合唱コンクール

10月28日（金）に合唱コンクールが行われました。10月半ばを過ぎたあたりから、どのクラスも真剣に練習に取り組み、当日はレベルの高い歌声を披露してくれました。今年審査委員長として藍原寛治先生をお呼びしました。藍原先生は、平石地区出身だそうで、今年度平石地区体育祭や平石地区文化祭で歌われた「平石の四季」を最初に地域の方々にお披露目したとき、独唱なされた方だそうです。

今年の1年生は、それぞれのクラスの色が良く出ている気がしました。男子の声はまだしっかりしない中、女子にうまくリードされていた感がありました。2年生は、全体的にレベルがものすごく高い気がしました。3年生にひけをとっていませんでした。去年の経験が生かされ、細かな点まで注意を払っている様子を窺うことができました。3年生は、毎年なのですが、さすが最上級生という貫禄がありました。また、舞台上で合唱を聴かせてくれる生徒の態度が素晴らしく、舞台上上がり、歌い終わって舞台から降りてくるところまで、生徒一人一人の団結力と鬼怒プライドを見せてもらえました。

今年度の最優秀賞は、3年5組となりました。本当におめでとう。そして生徒の皆さんありがとう。



## フェスタ鬼怒



毎年恒例のフェスタ鬼怒が10月29日（土）に行われました。9時45分からのオープニングに続いて、PTAが中心となったバザーや飲食物販売、生徒会中心の体育館におけるイベント発表が実施され、午後1時にエンディングとなりました。飲食持販売においては、昨年度同様に生徒がボランティアとなって、販売に協力しあちこちから「先生買ってください！」と大きな声が飛んでいました。イベント発表では、生徒有志が厳しいオーディションを経ており、質の高いそして楽しい演技披露となりました。



バザーでは、毎年多くの方々から品物を提供していただきまして、本当にありがとうございます。

## 1年生ふれあい文化教室&たばこに関する健康教室

昨年に引き続き11月24日（木）の3，4校時と5，6校時の2部に分かれて、ふれあい文化教室が開かれました。古典芸能ということで、尺八、太鼓、三味線などを使ってのたくさんの民謡を鑑賞しました。実際の生演奏は初めてだった生徒が多く、関心が高く、充実した2時間になりました。生徒の感想を聞くと、時折一緒に手拍子をするなどしてとても楽しかったようです。

また、28日（月）には、たばこに関する健康教室ということで、宇都宮市保健所の職員の方をお招きして、講話をいただきました。最近では、ずいぶんと喫煙人口も減ってきたようですが、まだまだ若年層の喫煙は大きな問題となっています。たばこから違法ドラッグへと移行していく者も依然としてなくなることから、毎年1年生を対象とした健康教室を開いています。生徒は、パワーポイントを利用しての職員の話真剣に聞いていました。これからも様々な機会を利用して、こういった教室を開きたいと考えています。

